

新興国にスーパーカーブームがやってくる？！

2009年に続いて、2010年も新車販売台数が世界一位に輝いた中国。この勢いは、超高額なスーパーカー市場にも及んでいるようです。

例えばイタリアのスーパーカーメーカーであるフェラーリ社は、本格的に中国市場に参入したのが2004年でありながらも、6年後の2010年には300台近くを販売、前年比43.6%増を達成しました。さらに2011年には、前年比1.7倍の販売台数を見込んでいます。また同社は、中国だけでなくインドや南米といった新興国も成長の余地があるマーケットと位置付けており、販売を拡大する方針です¹。

スーパーカーといえば、日本においては子供たちを中心とした1970年代の一大ブームが思い出されます。清涼飲料水の王冠の裏に車のイラストが描かれていたり、消しゴムをスーパーカーの形に模した「スーパーカー消しゴム」が売られたりしていました。さらに、日本の各地ではスーパーカーショーが催され、子供たちの憧れはスーパーカーに集まりました。そして日本経済最盛期の1980年代に入ると、経済成長に伴う所得増加により、高額品の売上が拡大し日本の消費スタイルは大きく変化。スーパーカーは憧れの車から、経済成長のシンボルのひとつとして一時代を築きました。

成長を続ける新興国においても、スーパーカーブームの兆しが見え始めています。所得の伸びと共に、昔の日本のように消費スタイルの変化が始まっているようです。

自動車販売台数ランキング

(単位：万台)

2010年	2009年	国名	販売台数	2010年	2009年	国名	販売台数
1位 →	1位	 中国	1,806	6位 ↑	8位	 インド	303
2位 →	2位	 アメリカ	1,177	7位 ↓	6位	 フランス	270
3位 →	3位	 日本	495	8位 ↑	9位	 イギリス	229
4位 ↑	5位	 ブラジル	351	9位 ↓	7位	 イタリア	214
5位 ↓	4位	 ドイツ	319	10位 →	10位	 カナダ	158

(1) GSAM調べ

(出所) 日本自動車工業会

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。＜審査番号:53112.OTHER.MED.OTU＞

© 2011 Goldman Sachs. All rights reserved.